

おくび



2008

5

NO.643

● 広報



～ 桜のアーチを通り抜けて ～

雨模様の4月24日、上級生よりも一足早く下校する新1年生を見かけました。担任の先生に見送られて、また途中の交差点には、迎えに来ているお母さんたちの姿も。おそろいの黄色い傘も、まるで花が咲いているかのようでした。

シリーズ①



白い森の
散歩道

資源に地域づくりを

・十三峠交流会

4月23日、アスモ多目的室で、越後米沢街道・十三峠交流会総会が開催されました。これは昨年まで、県が中心となって進めてきた十三峠連絡会議を基礎とする活動です。今後は、住民団体や観光関係者らが連携して、ネットワークの強化や、峠の保全などに取り組んでいくこととしています。

総会では、十三峠を活用した新たなイベントの開催など、本年度の計画について話し合われていました。



今年も来たよ「こがね号」 やまがた花回廊キャンペーン

4/5~6

やまがた花回廊キャンペーンのイベント列車「こがね号」が、四月五日と六日、JR小国駅に停車しました。このキャンペーンは、置賜八市町と上山市が、観光振興を図るために取り組んでいるもので、昨年が続いて二回目となります。駅には、親子連れなどが大勢つめかけ、珍しい列車に目を輝かせていました。また、約四十分の停車時間を利用して、物産市が開催されたほか、アトラクションとして、町からは熊とマタギ、関川村からは大蛇も登場していました。

白い森発

ぐるっと
情報局

4/21

連携深めて食育を充実

食生活改善推進員連絡協議会研修会

食生活改善推進員の研修会が、四月二十一日、健康管理センターで行われました。当日は、地産地消や食育などを進めている母ちゃん市場の小関清子さんらが講師として招かれ、それぞれの取り組みについて紹介されました。また研修会では、農業や食育、安全な食材の提供などについて、互いに連携を深めていこうと活発な意見が出されていました。



ーこの人に聞くー



小国警察署
署長 太田 富雄 氏

小国警察署勤務は初めてで、また、はじめての警察署長ということもあり、かなりの緊張と不安を胸に、身の引き締まる思いで、3月24日に着任いたしました。

しかし、それも束の間、町内の子どもたちの元気なあいさつと、地域のかたがたの温かい励まし、自然あふれる環境に、私の不安は一気に吹き飛び、使命感で満ちあふれました。

管内の治安情勢は、比較的平穏に推移しておりますが、県内外で発生している事件・事故が、当署管内で発生することも懸念されます。犯罪や交通事故を1件でも減らし、町民のみなさまが安全で、安心して暮らせるよう、署員26名一丸となって、管内の治安維持に努めてまいりますので、これまで同様、みなさまのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

新前署長がんばります。

4/23

活動を結びつけ峠を
越後米沢街道



四月十五日、老人福祉センターで、ちぎり絵虹の会（平田芳子会長）による作品づくりが行われました。集まった会員らは、講師の指導を受けながら、景色や花などを表現するため、ていねいに紙をちぎっていました。平田会長は、「ちぎり絵は、自宅でもできますし、指先を動かすので、体にも良いです。集中する時間が楽しくなります」と話していました。

また虹の会では、初心者のかたを対象とした体験教室を開催するなど、ちぎり絵の一層の普及を目指しています。

4/15

作品への思いを指先に
ちぎり絵虹の会





特集 健康と運動

わたしの健康づくり あなたの体力づくり

「健康に対する関心が高まっています」

みなさんは、普段どんなことを心がけていますか。今月は、いま取り組まれているさまざまな活動を紹介しながら、みなさんの「健康づくり」や「体力づくり」について考えます。

健やかな暮らしを目指して

高齢化の進展や、生活習慣病を患うかたの増加に伴って、「長く生きること」だけではなく、「より健やかに生きること」が求められています。

平成十二年、国は、「二十一世紀における国民健康づくり運動（健康日本21）」を策定し、分野ごとに目標を定め、その達成に向けた取り組みを推進しています。特に、医療や介護については、昨今、社会的負担や個人の経済的負担が増加傾向にあることから、食生活やこころの健康などまで含めた「一次予防策」を重点に進められています。さら

に、本年度からは、生活習慣病を抑制するため、中高年を対象とする健康診査を通じて、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）該当者などへの対策・指導を、本格的に進めていくこととしています。

町では、平成十六年に策

生活習慣と関わりのある病気

食習慣	糖尿病・肥満・高血圧・高脂血症・高尿酸値症・循環器病・大腸がん
運動習慣	糖尿病・肥満・高血圧・高脂血症・高尿酸値症・循環器病など
喫煙習慣	肺がん・慢性気管支炎・肺気腫・循環器病・歯周病など
飲酒習慣	アルコール性肝障害・脂肪肝など

定した「小国町健康増進計画」に基づき、住民それぞれの年代に応じた健康づくり事業を展開してきています。計画では「健康寿命の延伸」と「壮年期死亡の減少」を目標に、生涯を通して自分らしく健やかに生活できる町を目指しています。本年度は、計画の最終年度となるため、取り組みの成果やアンケートなどを踏まえながら、現在、次年度からの新たな計画づくりに着手しています。

小国町健康増進計画の概要

- ①適正な食生活の推進
(欠食率改善・適正体重維持)
- ②運動習慣の定着
- ③こころの健康と休養の推進
- ④喫煙と飲酒に対する知識の普及
- ⑤歯の健康に対する意識啓発

健康を支える活動

町では、健康増進計画で定めた「テーマごとの具体的な目標」を達成するため、対象者に合わせて、個別の対策を実施してきています。これまで、福祉や教育、

体育などの分野

が互いに連携しながら、運動や食事をテーマとした各種講習会

や地域に根ざした健康づくり教室などを開催して

きました。また、

幼年期からの歯科検診やフッ素

塗布、健全な食生活を指導する

講習会なども、いつまでも生き生きと暮らしていくために進めている対策の一つです。

健康サポーターは、高齢者の健康を支えるため、町

が養成・認定しているボランティアのかたがたです。平成十七年度から専門の養成講座を開催し、昨年度まで認定されたサポーターは三十二人。このかたがたは、それぞれの地域や公民館で開催される健康サロンなどで、運動指導の講師として

活動しています。サポーターは主に、社会福祉協議会や地域（公民館など）からの要請にこたえながら、健康づくりの普及啓発のほか、介護や閉じこもりの予防を目指しています。このようなサポーターの活躍は、病気の一次予防としてだけではなく、地域のかたがたの主體的な健康管理や、その意識付けという

続ける事が大切 体調に合わせて

健康サポーター
斉藤悦子さん(北)



約2年間健康サポーターとして、活動しています。各地域に出向いて運動指導を行うほか、自分が住む地区でも芋煮会などの機会に合わせて健康体操などを広めています。実際に体を動かして喜んでいる様子を見ると、とてもうれしくなります。

無理せず、体調に合わせて、毎日続けることが大切です。「足腰が悪いから」と外に出なくなってしまうお年寄りもいますが、横になったままや、座りながらできる運動もあるので、ぜひそういうかたにこそ、私たちの活動を知っていただきたいと思います。

健康への関心を 日常生活に

歩こう会会長
佐藤義雄さん(緑町)



歩こう会の狙いは、健康の基本である「歩き」を日常に取り入れていくことです。頭を天にまっすぐ伸ばし、胸を張り、進行方向をしっかりと見ることを意識すると、ふだんの歩き方とは全く違うものになるはずです。

歩くことを習慣付けることで、関節疾患の予防に役立つばかりではなく、生活のリズムができます。「歩き」は、小国の四季を眺めながら、体中に酸素が行きわたっていることが実感でき、体だけでなく、心も元気にしてくれるものです。

点でも、大きな役割を果たしてきています。こういった取り組みのほか、町内には、自主的な活動によって、健康づくりの啓蒙活動が続けてきているさまざまな組織や団体があります。なかでも、歩こう会(佐藤義雄会長)は、昭和五十五年から、「歩く」ことを基本として、健康づくりに対する意識向上に努めてきています。

また最近では、勝ち負けや点数を争う競技性の高いスポーツではなく、体への負担が少ない「生涯スポーツ」が普及してきています。ソフトラレーなど、手軽に始められる生涯スポーツは、年齢や体力の差を気にすることなく、一緒に楽しむことができるため、中高年のかたがたを中心に生きがいづくりとして、さまざまな活動が行われています。

スポーツ振興をととして

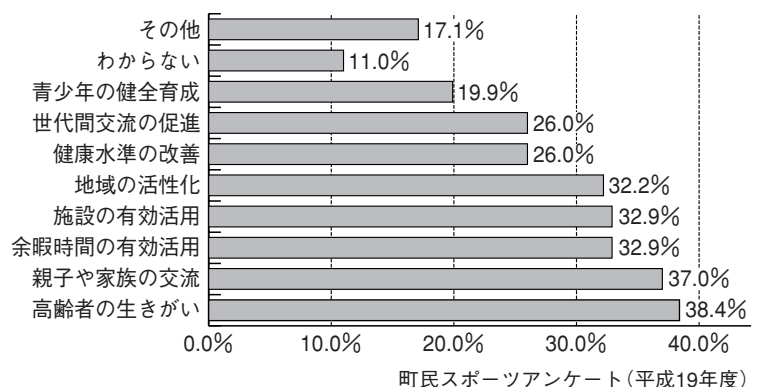
昭和二十九年に一町二村

が合併したことを機に、翌三十年十月、小国町体育協会が結成されました。以来、体育協会が中心となって、さまざまな地区対抗スポーツ大会を企画するなど、町民の体力・健康づくりに貢献しています。これらスポーツをととした健康づくりの実践が評価され、これまで体育協会は文部大臣表彰(昭和四十五年)を、町は内閣総理大臣賞(昭和六十年)を受賞しています。

しかし、長い伝統と歴史のなかで築いてきたスポーツ振興の取り組みにおいても、昨今の少子高齢化に伴う人口構成の変化、集落人口の減少は、大きな課題となつています。なかには、競技に参加できる人材が不足し、大会を棄権せざるを得ない状況も見られます。このような社会情勢の変

スポーツにどんな役割を望みますか？

(複数回答：割合は回答人数に対する割合)



化は、現在行われている「競技性の高いスポーツを中心とした地区対抗戦」と、体育協会が結成時から掲げてきた「みんなのスポーツ」という基本理念との間にギャップを生じさせてきています。

このため、町は昨年度、将来のスポーツ振興策についての検討を行う「スポー

「スポーツ振興検討委員会」を立ち上げました。委員会では、町体育協会や体育指導員らが中心となって、現状分析や町民アンケートなどを実施したうえで、今後進めていくべきスポーツ振興策の方向性が話し合われました。

昨年十一月に行われたアンケートの結果、町のスポーツ振興については、「年齢層にあったスポーツの開発と普及」、「公共施設を活用した健康・体力相談の充実」などに期待が寄せられました。さらに、「生きがいづくり」や「家族の交流」、「コミュニティの活性化」に対する役割の発揮が求められています。

こうした町民の声や、有識者による検討を重ねた結果、地区対抗戦などの活動は一部継続しながらも、より一層、町の実情に応じた生涯スポーツへの取り組みが必要であるとされました。このため、「総合型地域ス

ポーツクラブ」の設立を目指して、本年度は、準備委員会を立ち上げていくこととしています。

総合型地域 スポーツクラブって？

地域総合型スポーツクラブは、これまで趣味のサークルなどで行われていたレクリエーション性の高い種目も取り入れながら、スポーツに親しむ環境づくりを進めるものです。多世代・多志向、一貫指導・指導力向上、自主運営といった特徴があり、これまで趣味やレクリエーションとして取り組まれていた活動などを含め、生涯スポーツと位置づけながら、広く取り入れていく方針です。

地域全体を元気に

元気に暮らすためには、運動や食事など、ふだんの

お茶飲み感覚で 気軽な運動を

体育協会理事長
舟山孝夫さん(若山)
(平成19年度スポーツ振興
検討委員会委員長)



委員会では、競技スポーツの振興とは別に、「元気に暮らし、住み続けるためにどうすべきか」という視点からも検討しました。

スポーツは、感動や勇気、元気を生みだす源です。昨今、特に中高年女性の健康への意識が高くなっています。加えて、町内には有効に使われていない運動施設もあります。これらを融合しながら、気軽に生涯スポーツをはじめられる「場づくり」が必要だと思います。理想は、お年寄りのお茶飲み感覚で、だれでも、いつでも、手軽に運動できる環境づくりです。

町の現状に合わせ、競技スポーツで対応できなかった部分を補っていければと思います。

心がけが何よりも大切です。

しかし、福祉や教育などの個々の対策では実現できません。一緒に取り組む仲間や、共有する知識があれば、互いに意識を高めることができ、さらに、地域における新たなふれあいや、きずなを生みだすことにもつながります。この関係づ

くりこそが、個人だけでなく、地域全体に元気を与えることとなります。

町では、子どもからお年寄りまで、みんなが生き生きと暮らすことができるよう、さまざまな健康づくり事業を展開しながら、活力ある地域づくりを目指してまいります。

流域の安全を見守る

横川ダム管理支所が開所



本格的な管理運用がはじまった横川ダム。四月四日には、ダムサイトの「横川ダム管理支所」が開所式を迎え、四月十八日には、広報交流館「きてくる館」がオープンしました。

役割を終えたダム事務所

横川ダムが竣工したことに伴って、ダム建設事業の中心的な拠点であった横川ダム工事事務所（岩井沢地内）が、その役目を終え、三月三十一日に閉所式が行われました。

国や町の関係者約四十人が出席した閉所式では、吉野清文北陸地方整備局長が、「ダムの完成は、終わりで

はなく、やっ

治水事業のス

タート地点に

たったというこ

と。住民に対す

る安心を提供す

るのはもちろん、

地域振興の視点

も大切に、多面



吉野局長と五十嵐事務所長によって、看板がはずされる横川ダム工事事務所

的な役割を果たしてほしい」とあいさつ。その後、吉野局長と五十嵐事務所長によって、事務所の看板が取り外されました。

管理棟が「管理支所」に

ダム事務所の閉所に伴い、新たにダムサイト右岸に建設された横川ダム管理支所（綱木箱口地内）の開所式が、四月四日に行われました。



施設内には多くの写真や映像が展示され、町の自然や歴史など紹介

横川ダム管理支所に隣接する「きてくる館」内部



情報掲示板では、町中心部からいつでもダム情報を見ることが出来る



横川ダム管理支所は、荒川水系の治水事業を担う国土交通省羽越河川国道事務所（新潟県村上市・旧荒川町）の最先機関として、水量調整などの管理業務を行っています。

支所では主に、各地の観測所から送られてくる流域の雨量や河川情報、貯水池の状況などを、集約して、ゲートの操作（水位調節）を行います。また、この水位状況などについては、小国大橋のもとに設置された情報表示板によって、随時見ることが出来ます。

地域とダムの情報空間 きてくる館がオープン

東部地区の方言「きてくろ（きてける）」から命名された、横川ダム広報交流館「きてくる館」。四月十八日にオープンしたこの施設では、羽越水害や流域の動植物、下叶水遺跡などの写真や映像が紹介されているほか、ダムの情報をパソコンやパネルで学習することが出来ます。また、GPS画像を使って、町を空から眺めたような仮想体験ができるSORAナビや、屋上には展望広場も設けられています。

■開館時間 午前9時～午後5時

■休館日 駐車場が確保できない冬期間は休館します。

■入館料 無料

※詳しいことは、横川ダム管理支所（☎65―2363）へ

小国高から ベニス高へ短期留学

伝わるうれしさを実感

3年 小関 奈穂

この短期留学を通して、自分の可能性を再発見できました。初めは、授業よりはるかに速い現地の人の英語がうまく聞き取れず、フィリピンなまりの強いホストファミリーともコミュニケーションがとれなくて、早く小国に帰りたいと思いました。

しかし、この短期留学はたくさんの人の応援があって実現したのだから期待に応えたいという想いもあり、徐々に積極的に英語を話せるようになりました。2週間目になると、自分の気持ちが相手に伝わるのが嬉しくて、英語での会話が楽しく感じられるようになりました。

現地ではたくさんの友達ができ、海外でも認めてもらえた自分に、今は自信が持てます。この短期留学で体験した文化や学んだ英語、身に付いた自信で、これからも自分を成長させていきたいです。



小関 奈穂さん (写真右)



鈴木 大介さん (写真右)

新たな友だちとの出会い

3年 鈴木 大介

今回の短期留学では、とても不安なことが多くありましたが、それを上回る貴重な体験ができました。

ベニス高校では多くの友人を作ることができました。日本語がペラペラの日系人の友達、がんばって僕に日本語で話しかけてきてくれた黒人の友達、日本語は話せないけれども身振り手振りで意思を通じ合った友達、みんな本当におおらかで、いい人ばかりでした。

文化、言語、生活習慣など、すべてが違う国アメリカで、こんなにも多くの友人を作れたことは僕の自信になり、そしてすばらしい経験になりました。この2週間を一生忘れることはないでしょう。このような機会を与えてくださった多くの人に感謝しきれない思いでいっぱいです。みなさん、本当にありがとうございました。

私たちが学んだこと

―異文化とのふれあいを経験して―

2008.3.22
～4.5

小国高校生二人が、三月二十二日から十四日間にわたり、ロサンゼルスのあるベニス高校に短期留学しました。この経験のなかで二人が感じたことを紹介します。

楽しく体を動かそう

スプリングスポーツ教室

三月二十五日から二日間にわたり、町民体育館で、小学生対象のスプリングスポーツ教室が開催されました。

参加した小学1年～3年生までの約40人は、レクリエーションを交えながら、さまざまな種目に挑戦。体育館いっぱいになり走り回り、歓声をあげながら汗をながしていました。



病院内科に 矢尾板孝夫先生



町立病院に、矢尾板孝夫先生が就任し、四月から診察にあたられています。山形市出身の矢尾板先生は、

東京医科大学を卒業後、同大学病院、八王子医療センター、公立置賜総合病院などで勤務されました。「二人ひとりの顔をみて、分かりやすい診察を心がけたいです。病気は早く治療することが基本ですが、そうなる前に悪い部分を見つけることがもっと大切。健診などを活用して、自己管理の意識向上にも努めたい」と話されました。

犯罪のない町を

町防犯協会総会

町防犯協会の総会が、四月十五日、総合センターで開催されました。

県や警察関係者など約九十人が出席した総会では、防犯協会会長の町長から、各地域の代表者に地区班長としての委嘱書が交付されました。

このほか、町内で発生した犯罪や交通事故の事例を踏まえながら、本年度の事業計画が決められました。



防火の願いをこめて

防火パレード

四月十九日、春の火災予防運動にあわせて防火パレードが行われました。出発式では、渡部鍊太郎消防団長が、「山菜や農作業のシーズンを迎え、山焼きや野焼きも増えてきます。みなさんで、火災予防の意識を高めていきましょう」とあいさつ。その後、消防団員らは、三つのグループに分かれて、ポンプ車などを使い、町内全域で啓発活動を行いました。



催し

森林セラピーシンポジウム

■日時 5月31日(土)

午後1時30分～4時40分

■場所 総合センター

■内容 基調講演、パネ
ルディスカッション

■その他 どなたでも参加
できますが、事前に電話
で申し込んでください。

■申込先 産業振興課へ

第49回歩こう会

■日時 5月18日(日)

午前8時30分～午後2時

■コース 片貝から下関
(新潟県)

■参加費 大人千五百円
中学生以下七百元

■申込期限 5月12日(月)

■申込先 健康福祉課へ

■日時 5月20日(火)

ちぎり絵体験教室

午前9時30分～11時30分

■場所 老人福祉センター

■対象者 どなたでも参加
できます。

■参加費 千円(材料費)

■申込先 ちぎり絵虹の会
事務局(伊藤 ☎ 62-28
25)へ

森林トレッキング

Aコース(飯豊連峰)

■日時 6月21日(土)

午前8時35分～

■内容 梅花皮沢トレッ
キング、自然観察

Bコース(西吾妻)

■日時 7月12日(土)

午前7時30分～

■内容 西吾妻トレッキ
ング、高山植物観賞

■参加費 三千円

■定員 各コース28人

■申込期間

5月26日(月)～6月6日(金)

■申込先 置賜森林管理署
(☎ 62-2246)へ

募集

町の木材をご利用ください
—小国の家づくり助成事業—

町では、小国産材を使用
して住宅建築するかたに、
助成金を交付しています。

助成要件

①町内の製材業者から納入
された木材製品を使用す
る住宅、又は町外の製材
業者から納入された木材
製品を使用し町内業者が
施工する住宅

②新築又は増改築する住宅
で、助成金の交付を受け
ようとするかたが住居専
用として使用する住宅

■助成金額 使用する木材
製品の二〇%(上限五十
万円)以内。

■申請方法 所定の様式を
用意していますので、必
要事項を記入し申請して
ください。

■問合せ 地域整備課へ

ヘルスメイト養成講座

ヘルスメイトは、地域活
動をとおして、食生活の改
善や、運動普及などを進め
るボランティアです。

■日程 6月18日(水)、7
月2日(水)、16日(水)、28日
(月)、8月8日(金)

■場所

健康管理センター

■対象者 全5回の講座に
参加できるかた

■受講料 無料

■申込先 健康福祉課へ

県産材を活かして

—木の香る街づくり事業—

■対象者 自治会、商店街
など地域に根ざした団体

■募集内容 案内板、ベン
チ、プランターなど木材
を利用した街づくり活動

■募集期限 5月30日(金)

■応募方法

県のホームページから申

相談

年金相談

- 日時 5月21日(水)
受付 10:30~14:30
相談 11:00~
■場所 役場町民相談室
■対応者 社会保険事務所職員
■問合先 町民課へ

人権相談

- 日時 5月23日(金)
受付 10:00~12:00
■場所 総合センター
■対象者 町人権擁護委員
■問合先 町民課へ

弁護士無料法律相談

- 日時 6月3日(火)
10:00~15:00
■場所 総合センター
■対応者 町顧問弁護士
■その他 事前に申し込みが必要です。希望するかたは、5月28日までに申し込んでください。
■問合先 町民課へ

地域づくりを応援します

東北電力では、みなさんの地域づくりを応援します。
■対象者 県内在住のかたが主体の任意団体など
■募集事業 農業や商工業、観光などに関する地域活性化のための事業

し込んでください。
■その他 経費の半額(上限百万円)を補助します。
■問合先 置賜総合支庁森林整備課(☎0238-3519053)へ

ご案内

上水道・簡易水道を
利用しているみなさまへ

5月は、冬期間料金の精算月です。5月上旬に実施する検針により、冬期間の

■募集期限 5月16日(金)
■その他 採択となった場合、経費の半額(または二十五万円)を補助します。
■申込先 東北電力(株)山形支店(☎023-63418007)へ

山火事を防ぎましょう

春は山火事の多い季節で

料金が精算されます。精算結果については、「精算のお知らせ」として5月中旬に使用者へ送付しますので、ご確認ください。
追加請求のあるかたには、5月分として請求します。また、返金が必要なかたには別途通知により6月以降に返金いたします。
※詳しいことは、地域整備課へ

情報公開制度運用状況(平成19年度分)

請求件数

3件

内訳

▼全部公開 1件

▼部分公開 2件

▼非公開 0件

異議申立件数

0件

個人情報保護制度運用状況(個人情報登録件数538件)

内訳

▼町 450件

▼教育委員会 38件

▼選挙管理委員会 19件

▼監査委員 12件

▼農業委員会 16件

▼固定資産評価 審査委員会 1件

▼議会 2件

■問合先 総務企画課へ

す。山火事を見つけたらすぐ通報してください。

■問合先 置賜森林管理署(☎62-2246)へ

総合センター図書室から

●こども読書週間 (4/23～5/12)

日本絵本賞を受賞した本を展示・貸出します。期間中のみ山形県立図書館(遊学館)より借りている本もあります。ぜひこの機会にご覧ください。

●新着図書

◇むばたま あさのあつこ

◇宇宙への秘密の鍵

ルーシー&スティーヴン・ホーキング

◇母の作法 辰巳 渚

◇広辞苑 第6版

◇パリ左岸のピアノ工房

T・E・カーハート

◇怪獣図解入門 円谷プロダクション

●休館日 毎週月曜日

5月3日、4日、5日、6日

☆なかよし広場☆

■日程と場所

5月1日、15日

■申込期限

5月15日(木)

■問合先

子育て支援センターへ

健康管理センター
 対象者 0歳から入園前
 のお子さんとお家のかた

時間 午前10時～
 場所

☆あそびの広場☆
 日程 5月13日、20日
 子育て講座「小国の郷土料理」
 27日、6月3日

☆こども愛ランド

日時 5月17日(土)
 午前9時～

内容 ダムとビオトープ周辺の散策

時間 午前10時～
 対象者 0歳から入園前
 のお子さんとお家のかた

5月8日、22日
 総合センター
 おぐに保育園

事業所名	職種	求人数	勤務時間
小国町森林組合	スタント給油・配達業務ほか	2人	7:30～17:00ほか
(株)井上製作所	マシンオペレーター	6人	8:30～16:45ほか
(株)船山工務店	土木施工管理技士	2人	8:00～17:00
味処 藤 よ し	調理師及び見習い	1人	8:30～22:00
第一生命保険相互会社坂町支部	生命保険コンサルタント	5人	9:00～17:00
(有)コンズカンパニー第一ホール小国店	ホールスタッフ	2人	8:00～17:30ほか
アベプランニング	サービス・役務	1人	8:00～17:00
(株)ベンチャービジネス春樹	伐採作業員	10人	8:30～17:30ほか
(有)東部開発	農作業全般	3人	8:00～17:00
ひさご電材(株)小国工場	電気部品製造	1人	8:30～17:30
猪野電気工事(株)	内・外線工事作業員	2人	8:00～17:00
遠藤建設(株)	土木施工管理技士	1人	8:00～17:00
(有)蔵王ストアー	レジ係ほか	2人	8:45～18:00
合資会社山佐佐藤農機店	営業・販売・整備工	2人	8:30～17:30
山和建設(株)	土木施工管理技士ほか	4人	8:00～17:00
DoCoDeMoグループ(有)	警備業務	10人	8:00～17:00
大河内産業(有)	砂利プラント運転士ほか	7人	8:00～17:00
(有)小国測量設計事務所	測量助手	2人	8:00～17:00
安部工業(株)	重機オペレーターほか	3人	8:00～17:00
ハイコー(株)	電気工事(見習い可)	2人	8:00～17:00
(株)ジェイサービスおきたま	配送及び給油所業務	5人	8:00～16:45ほか
電興(株)	薬剤師	1人	8:50～17:30
介護老人保健施設かがやきの丘	グループホーム介護員ほか	3人	7:00～16:45ほか
(株)スタッフサービス	電気系生産技術ほか	3人	8:30～17:00
(株)ジャパングリエスタッフ山形営業所	半導体製造装置製造	5人	8:30～16:40ほか
(株)シーテック山形営業所	社内システムの設計ほか	2人	9:00～18:00
酒味庵 まつばら	接客	1人	17:00～21:00ほか
(有)コンビニエーションオレンジ	コンビニ・カラオケ店員	3人	9:00～13:00ほか
(株)ナウエール	設備業務及び運転手	1人	8:30～17:30
KATEKYO学院長井校	完全個別指導家庭教師	10人	17:00～21:00

今月の納税

5月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

●5月26日(月) 水道料

●6月2日(月) 固定資産税(1期) 介護保険料、下水道料・簡易下水道料、住宅使用料、保育料など

■問合先 税務出納課へ

求人情報

左の表は4月15日現在の求人内容です。無効になっている場合もありますのでご了承ください。※詳しいことは、ハローワーク長井(☎84-8609)へ



小国町役場 ☎62-2111(代) FAX62-5464
 住民窓口担当・町民生活担当 ☎62-2260
 出納室 ☎62-2406
 建設管理室・上下水道室 ☎62-2431

行政管理室 ☎62-2112
 国保医療担当 ☎62-2261
 農林振興室 ☎62-2408
 建設技術室 ☎62-2432

政策企画室 ☎62-2264
 税政管理室 ☎62-2403
 商工振興室・交流推進室 ☎62-2416
 議会事務局 ☎62-2448

健康管理センター 展示のご案内

展示期間	氏名（団体）	展示内容
5/1～5/16	佐藤 イト子	刺繍
5/19～5/30	本間 弘子	切手など
6/9～6/20	おぐに保育園	園児作品

■問合先 健康福祉課へ

◆◆◆ レディース検診 ◆◆◆

すでにいただいている申し込みに基づいて、希望者全員に受診案内を送付します。

地区指定は行いませんので、案内にしたがって、ご自身の都合に合わせて日程を選び、電話で健康福祉課まで申し込んでください。

※詳しいことは、健康福祉課へ

◆◆◆ 各種検診の日程 ◆◆◆

基本健康診査は、本年度から、メタボリックシンドロームに着目した「特定健康診査」に変わります。それぞれ、加入している医療保険者（健康保険組合、政府管掌保険、国民健康保険など）からの案内にしたがって受けてください。

※胃がん検診、大腸がん検診、肺がん検診、結核検診、前立腺がん検診、肝炎ウイルス検診、生活機能評価、特定健康診査を同日に実施します。

- 受診券と保険証を持参してください。（後期高齢者医療対象者は保険証で結構です）
- 問診票は、申し込みに基づいて、検診日の約2週間前までに個人通知します。

月 日	時 間	会 場	対象駐在地区
6月5日 木	7:10～9:30	健康管理センター	松岡、種沢、大滝、町原
6月6日 金	7:10～9:30	健康管理センター	増岡隣組5～9組、駅前一・二、田沢頭、西
6月25日 水	7:45～9:30	白沼小中学校	沼沢一・二、白子沢、間瀬
6月30日 月	7:45～9:30	叶水基幹集落センター	河原角、新股、上叶水、下叶水、上大石沢、下大石沢
7月9日 水	7:10～9:30	健康管理センター	地蔵町、緑町一・二、小国町一・二
7月10日 木	7:10～9:30	健康管理センター	東原、幸町一・二
7月30日 水	7:10～9:30	健康管理センター	栄町一・二、本町一・二・三
7月31日 木	7:45～9:30	伊佐領小学校	伊佐領、綱木箱口
8月18日 月	7:45～9:30	沖庭小学校	舟渡、尻無沢、今市
8月19日 火	7:45～9:30	宮の森会館	増岡隣組1～4組、大宮、宮ノ台
8月22日 金	7:45～9:30	沖庭小学校	小渡、館、古田
9月3日 水	7:45～9:30	足中克雪管理センター	足野水、市野沢、百子沢、足水中里、樽口
9月22日 月	7:45～9:30	玉川高齢者 コミュニティセンター	玉川、玉川新田、片貝、中田山崎、玉川中里
9月29日 月	7:45～9:30	小玉川小学校	小玉川、長者原、泉岡
10月2日 木	7:45～9:30	越中里活性化センター	越長、六ヶ字
10月6日 月	7:45～9:30	五味沢活性化センター	三ヶ字、五味沢、石滝
10月22日 水	7:10～9:30	健康管理センター	坂町一・二・三・五、県職員アパート
11月13日 木	7:10～9:30	健康管理センター	兵庫館一、北、旭町
11月14日 金	7:10～9:30	健康管理センター	兵庫館二、岩井沢一・二、上岩井沢
11月21日 金	7:10～9:30	健康管理センター	平林、あけぼの、若竹寮、小芦

職場を訪ねて ①

～健康の森 横根～

町内のさまざまな「職場」を訪ね、現場のかたや仕事内容を紹介します。

今月は、4月26日から営業を再開した健康の森横根。



バンガローのベランダで、イスや机のぞうきんがけをするおぐに白い森(株)の小山和彦さん。施設の安全点検をはじめ、通路にたまった枯れ葉を掃除したり、障子の張り替え作業などを行っていました。

「これからの時期は、桜や新緑とのコントラストも眺めることができるでしょう。ゴールデンウィークからは、本格的にレジャーシーズンが楽しめそうです。健康の森は、町の豊かな自然を身近に感じるのに最適な場所です。春が、だんだん山に登ってくるのを体感してもらいたい」と話していました。

編集後記

町は、すっかり柔らかな緑に包まれています。そんな中、オープンしたばかりのきこる館に行ってみると、数組の家族連れを見かけました。いろいろな機器にふれることができる館内では、子どもたちも楽しみながらダムについて学んでいました。屋上からは、湖面が一望できます。みなさんも、新緑が鮮やかなうちに、ぜひ訪れてみてはいかがでしょうか。(片桐)

戸籍のまど

誕生おめでとうございます。

栄町	小田	たかや 昂 弥	(佳春 絵美子)
小国小坂町	塩川	てった 徹 太	(徹 江)
杉沢	高橋	あいたろう 安 太郎	(睦人 安以子)
杉沢	佐藤	りゅうじ 隆 史	(勝則 和歌子)
小国町	本間	ゆうや 佑 弥	(辰徳 直子)
北武井		がいき 凱 城	(裕也 千尋)
小国小坂町	伊藤	ふうか 楓 果	(敬太 未紗)
叶水渡部		けいじ 慶 志	(寿郎 春香)

結婚おめでとうございます。

(小国町)	石井	真一
(小国町)	齋藤	悠子
(緑町)	相馬	友樹
(小国小坂町)	島貫	愛沙
(富山県)	高村	裕一
(緑町)	小関	美智子
(綱木箱口)	井上	亮
(高畠町)	中川	舞

おくやみ申し上げます。

岩井	沢瀬	野きよの	(92)
金目	齋藤	ハツエ	(88)
沼沢	高橋	ナツエ	(84)
石滝	今	春子	(83)

人口のうごき

人口	男	4,592人(-24)
	女	4,819人(-33)
	計	9,411人(-57)
世帯数		3,231世帯(-30)
		平成20年3月31日